

20 基 建 第156号

平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 様

高山市長 土 野



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては日頃から高山市の道路整備に対しご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案」について、別紙のとおり回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岐阜県高山市

高山市は、平成17年2月に周辺9町村と合併し、市域は、東西に81km、南北に55kmと大きく広がり、富山、長野、石川、福井の4県、10市町村に隣接するなど、東京都とほぼ同じ面積、約2178km²を有する日本一広い市となり、市域内における道路の状況は、国道276km、県道330km、市道1,818km、橋梁数は959橋と膨大な道路延長及び橋梁数となりました。

市域をとりまく道路環境は東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道などにより高速ネットワークの整備がされつつありますが、企業誘致、観光客誘致、地域の持続的発展に取り組むうえで、「地方の自立的発展や地域間交流を推進する広域交通網の整備」は、継続的かつ着実な整備が必要です。

また、険しい地形など地理的制約がある中で、市街地と地域の拠点をネットワーク化する生活道路の確保は、「市域の一体化の醸成に向けた社会資本の整備」を図るうえで重要であるとともに、近年、集中豪雨による大規模災害や、大雪・交通事故等による道路ネットワークの分断が度々発生するなど、災害に強い道路ネットワークの確保は、災害による孤立集落対策など、「交通安全対策、危機管理強化」を図るうえで重要であり、着実な整備が必要です。未整備の道路が多く、特に冬期の救急活動に支障を生じ、市民の生命に関わるという状況があることから、これらの課題を解決することが優先されるべきです。

全国的に少子高齢化、過疎化が進む中で、高山市は、全ての市民が住みやすく、住みつづけたいと思えるまちが、訪れる人にとっても訪れやすいまちである「住みよいまちは行きよいまち」を基本的な考え方とした「安全で安心して快適に暮らすことのできるユニバーサルデザインの視点に立ったバリアフリーのまちづくり」に取り組んでおり、このバリアフリーの考え方を、道路行政をはじめあらゆる施策の基本としており、今後においても人にやさしいみちづくりの整備が必要と考えています。

合併に伴い、歴史的景観や伝統的文化、北アルプス(飛騨山脈)をはじめとする雄大な山並み、清流や滝、のどかな田園風景、温泉などの魅力ある自然資源、四季の移ろいの中で伝統文化や多彩な自然に触れあえるまちとなり、近年の道路需要の多様化した「地域主体の、街道空間を活用した魅力の創出」につながる道路の整備が必要です。

こうした道路整備の課題は、当市のみならず合併した多くの自治体に共通するものであり、「中期計画」を策定するに当たっては、採算性の追求だけに偏ることなく、地方の活性化や自立に必要な基幹道路の整備や災害に強い道路整備など、地方の実情やニーズを十分に踏まえ、道路整備財源や予算を確保され、地方にとって真に必要な道路整備事業を計画に反映することを要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1地域の現状と抱える課題(1)

様式②

岐阜県高山市

○現状	○課題
1、自立的発展や地域間交流を促進する広域交通網の整備 ・高山市は岐阜県の北部、東海・北陸圏と中間に位置し、大都市圏をはじめ他機関への移動には時間と労力を要します。 ・産業構造は、中小企業を主体として第3次産業に特化し、観光関連産業が地域経済をけん引しています。	・地域産業の活性化や企業誘致の促進 ・観光入込数の一層の増加 ・広域観光ルートの形成 ・高規格道路と合わせて効果を発揮する地域間ネットワーク道路
2、市域の一体化の醸成に向けた社会資本の整備 ・高山市は日本一の広大な市域を有し、急峻な山々に囲まれていることから、市内の移動は自動車に依存しており、道路は極めて重要です。 ・合併により、国道276km、県道330km、市道1,818kmとなり、維持管理が膨大となっています。	・市域の一体化の推進、市内遠隔地の解消 ・地域間交流の促進 ・通勤、通学、通院、買い物などの日常生活の利便性向上 ・バス等公共交通運行円滑化に向けた道路整備 ・救急患者、妊婦等の病院搬送、災害、火災等緊急対応時間の短縮 ・インターチェンジへのアクセス30分圏域の拡大 ・老朽化した道路・橋梁の維持管理及び改修
3、交通安全対策、危機管理強化 ・高山市や、飛騨地方圏域の道路等基盤整備の現行水準はまだ低く、狭隘、急カーブ、縦断勾配の不良などの未整備区間も多く残されています。 ・豪雪地帯であるため、冬期の通行確保や安全対策に苦慮しています。	・土砂崩落や雪崩等の災害に強い道路づくり ・災害による孤立集落対策としての代替道路の確保 ・冬期間における交通の確保、安全への対策 ・交通渋滞の解消や交通事故防止、歩行者の安全確保
4、ユニバーサルデザインに配慮した人にやさしいみちづくり ・国際観光都市である高山市は国外も視野に入れた観光戦略を展開しています。 ・市民や来訪者の「安全、安心、快適な暮らし」を確保し、豊かでうるおいのある生活の実現を目指しています。	・段差解消や歩車共存型の道路整備による歩行者(交通弱者)の利便性と安全確保 ・歩道を含めた街路整備による快適な道路空間の創出

今後の道路行政についての意見・提案

②-1地域の現状と抱える課題(2)

様式②

岐阜県高山市

○現状	○課題
5、地域主体の道路空間を活用した魅力の創出 ・高山市は伝統文化と古くからの町並みが残る、我が国有数の伝統的文化都市で小京都として国内外から多くの観光客が訪れています。 ・高山市は周囲を山々に囲まれ、自然が多く残されている魅力あるまちです。	・古い町並みをはじめとする歴史、文化や豊かな自然や環境を最大限に生かした道路整備 ・道路整備と環境整備の一体化したまちづくり ・多彩な地域資源を活かし、景観等を楽しむことのできる美しい街道づくり
6、計画的な道路整備とその財源確保 ・少子高齢化、過疎化が進む周辺地域では、地域内の道路整備を計画的に進めることができない状況です。	・交通弱者に対する総合的な対策が必要 ・採算性の追求だけでなく、地方の活性化や自立に必要な地域の基幹道路や災害に強い道路の整備 ・生活者重視の視点に基づく計画的な道路整備 ・市民の意見を反映させた真に必要な道路整備 ・道路整備財源及び予算の確保

【産業】

- ・広域交通網や基幹道路など地域の道路整備を推進することにより、市域や飛騨地域の活性化や観光(交流)人口の増加、企業誘致や産業振興、農畜産物の高付加価値化など様々な産業経済活性化を図る。

【くらし】

- ・広域交通網や基幹道路の整備を推進することにより、地域住民の生活圏の拡大や、救急医療体制の確保等、生活利便性の向上を図るとともに、くらしの道づくり(道路空間整備等)を推進することにより、そこに暮らす人々や来訪者に生活景観を通して潤いや心のやすらぎを与え、暮らしの高質化を図る。

【観光】

- ・高速交通網や広域交通網の整備を推進することにより、アクセスブルな地域の形成を図るとともに、歴史的景観などを活かしたくらしの道づくり(道路空間整備等)を推進することにより、国内外からの来訪者に心のやすらぎや感動を与え、風格がありリピート性の高い「飛騨高山」の実現を目指す。
- ・高速交通網や広域交通網の整備を推進することにより、高山市が持つ豊富な有形・無形の観光資源を有機的にネットワーク化し、異業種の交流などによる周遊型・滞在型・体験型観光を推進する。また、戦略的な情報発信を国内にとどまらず海外にも展開し国際観光都市を目指す。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)(1)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1、自立的発展や地域間交流を推進する広域交通網整備	・中部縦貫自動車道の整備促進 ・国道41号の高規格化と石浦・高山国府BPの整備促進 ・国道361号(高根町地内)の整備促進 ・国道471号(上宝町支所管内)の整備促進 など	・地域産業の活性化や企業誘致の促進 ・観光地へのアクセス強化による観光客の増加誘致 ・高規格道路とのネットワークによる関東、中部、北陸地方の広域的、一体的発展	
2、市域の一体化の醸成に向けた社会資本の整備	・高山市街地外環状線の整備推進 ・主要地方道国府見座線(通称十三墓峠)の整備促進 ・国道361号(高根町地内)の整備促進 ・国道158号(荘川町地内)の整備促進 など	・通勤、通学、買い物などの日常生活の利便性向上 ・救急患者、妊婦等の病院搬送、災害、火災等緊急時の対応時間の短縮 ・インターチェンジへのアクセス30分圏域の拡大整備 ・老朽化した道路・橋梁の維持管理及び改修支援(予防保全)	
3、交通安全対策、危機管理強化	・中部縦貫自動車道の整備促進 ・国道41号の高規格化と石浦・高山国府BPの整備促進 ・橋梁補修(耐震対策)事業の推進 ・豪雪雪寒対策事業の推進 ・踏切拡幅事業の推進 など	・土砂崩落や雪崩等の災害による強い道路づくり ・孤立集落対策としての代替道路の確保 ・冬期間における交通の確保、安全対策 ・交通事故防止、歩行者の安全確保 ・交通渋滞の解消	
4、ユニバーサルデザインに配慮した人にやさしいまちづくり	・市街地や高山駅周辺エリアでのバリアフリー化 ・臨時交付金事業 ・高山駅周辺土地区画整理事業の推進 ・まちづくり交付金事業の拡充 など	・段差解消や歩車共存型の道路整備による歩行者(特に交通弱者)の安全確保 ・歩道を含めた道路整備による快適な道路空間の創出 ・自治体独自の発想が反映されるまちづくり	

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

岐阜県高山市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)(2)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
5、地域主体の道路空間を活用した魅力の創出	・電線地中化整備事業の整備促進(国道158号他) ・歴史的環境形成総合支援整備事業 ・歴史街道事業及び官道などの再生 ・景観保全事業 など	・古い町並みの保存と観光資源としての活用 ・道路整備と環境整備の一体化したまちづくり ・歴史や伝統の保存、継承と文化振興 ・多彩な地域資源を活かし、景観等を楽しむことのできる街道づくり	
6、計画的な道路整備と、その財源確保	・地域内道路を計画的に整備	・交通弱者に対する総合的支援 ・生活者重視の視点に基づいた計画的な道路整備 ・採算性の追求だけでなく、地方の活性化や自立に必要な地域の基幹道路の整備 ・市民の意見を反映させた真に必要な道路整備 ・地方道路臨時交付金の拡大など大幅に不足している道路整備費の確保・拡充	
7、その他 公共事業に対する地元負担の軽減について	・国をはじめとする公共事業に対する、県や市町村などの地元負担を考慮した新たな制度の確立	・地方における事業の進捗が図られる ・地方の財政力に関わらず、公平な道路行政サービスを受けることができる	